

日本混相流学会
2011 年度第 4 回理事会議事録

日時： 2012 年 3 月 3 日（土） 13:00-16:30

場所： 東京工業大学原子炉研究所 原子炉研 1 号館（大岡山北 1 号館）第 1 会議室

出席者：

佐田富道雄（会長）、秋本肇（筆頭副会長）、富山明男（副会長）、木倉宏成（情報部会長）、齊藤泰司（企画部会長）、大川富雄（国際部会長、関西地区担当）、川原顕磨呂（総務部会長、九州地区担当）、中野政身（理事、東北地区担当）、市川直樹（理事、関東地区・学生会担当）、内山知実（理事、東海地区担当）、加藤泰生（理事、中国・四国地区、OMF 担当）、加藤健司（選挙管理委員長）、近藤健（事務局長）

議題と配布資料：

1. 前回議事録の確認 [資料 2011-4-01]
2. 評議員・監事選挙結果と会長選挙について [資料 2011-4-02]
3. 情報部会報告
 - ①編集委員会報告 [資料 2011-4-03]
 - ②粉体工学会編集委員会からの連絡 [資料 2011-4-03-2]
 - ③粉体工学会編集委員会からの連絡 [資料 2011-4-04]
4. 企画部会報告
 - ①研究企画委員会報告 [資料 2011-4-05]
 - ②第 4 回 NBMB 講習会について [資料 2011-4-06]
 - ③混相流レクチャーシリーズ 37 開催および会計報告 [資料 2011-4-07]
5. 総務部会報告
 - ①メール配信について [資料 2011-4-08]
 - ②共催について [資料 2011-4-09]
 - ③第 11 回日米先端工学シンポジウム招待討議者 [資料 2011-4-10]
 - ④データベース「学会名鑑」記入について [資料 2011-4-11]
6. その他
 - ①環境再生に向けた震災復興シンポジウムの開催について [資料 2011-4-12]
 - ②日本工学会平成 24 年新春交礼会について
 - ③学会賞について
 - ④混相流学会年会講演会 2012・第 31 回混相流シンポジウムの準備状況について
 - ⑤学会誌「混相流」の表紙について
 - ⑥次回理事会の日程と内容について

議事：

1. 前回議事録の確認
 - ・川原総務委員長から資料 2011-4-01 に基づき 2011 年度第 3 回理事会議事録（案）の確認があり、原案とおりに承認した。

2. 評議員・監事選挙結果と会長選挙について

- ・加藤健司選挙管理委員長から、2012年度評議員・監事選挙の開票結果について、すべての候補者が信任されたとの報告があり、これを了承した。また、川原総務委員長から資料 2011-4-02 を用いて、2012年度会長選挙案内について説明があり、事務局から会長選挙に関する資料を送付することを承認した。
- ・加藤選挙管理委員長および事務局から、会員数に対する投票数が少ない旨の報告があった。そこで、次の選挙から会員に投票要請のメールを出すこととした。また、2012年度の会長選挙案内についても投票要請のメールを評議員に出すこととした。

3. 情報部会報告

①編集委員会報告

資料 2011-4-03 に基づき、木倉情報部会長から編集委員会の活動説明があった。

- ・混相流「巻頭言」の執筆者として非会員でもよいかとの編集委員会から理事会への確認について、執筆者を理事会で確認して適任者であれば非会員でもよいことを了承した。
- ・学会誌の裏表紙等への広告掲載について、「年会にご出展いただいた企業」、「維持会員」、「その他学会にご尽力いただいた企業」、の順に無料で広告掲載することが提案され、これを承認した。この承認事項は本年度の年会講演会 2012 への出展企業から適用することとした。なお、広告案内をホームページに載せることおよび広告掲載回数等のルールについては編集委員会と事務局で相談することとした。また、広告掲載料について広告募集の案内を 2012 年 3 月号から掲載することとした。
- ・英文投稿用表紙と英文テンプレートについて、西山論文審査委員長および佐田富会長からの案を編集委員会で一部修正した案（資料 2011-4-03-2）が示された。1 週間を目途に各理事でチェックした後、メール審議の承認を経て、ホームページに早急に掲載することとした。
- ・年会講演会、講習会、OMF 等の投稿規定について、編集委員会内のワーキンググループで検討していただくことを再確認した。
- ・震災後 1 年企画として「混相流学会からの提言」について、佐田富会長から「提言のような偉そうなことを書くのではなく、3 月 15 日開催の震災復興シンポジウムを企画していただいた中野理事と秋本理事にもお願いして終了報告を兼ねて文章を書いては如何か。」との提案があり、佐田富会長、秋本筆頭副会長、中野理事で文章を執筆していただくことを了承した。
- ・25 周年特集号中の混相流研究を振り返り今を考える記事について、2011 年度第 3 回理事会で提案の「学会創立 25 周年の企画を何らかの形で年会講演会あるいは混相流シンポジウムの中に入れる」ことは、実行委員会の現在の準備状況から無理ではないかとの意見が出された。
- ・25 周年特集号中の若手研究者育成に対する取り組みの記事に関し、ICMF の渡航費補助者、学生優秀講演受賞者のその後の活動の調査について市川学生会担当理事と事務局に再依頼があった。そして、市川理事より「基本的に、これまで数多く受賞している研究室において、何人かの元学生および受賞後もまだ残っている人、大学で勤めている人などに、受賞したことがその後どのような影響を与えたか、その時にやっていた研究と今の仕事との（考え方などでの）つながりなど書いてもらう」との方針が出され、これを了承した。

②粉体工学会編集委員会からの連絡

- ・資料 2011-4-04（会議後、回収）に基づき、2011 年度第 3 回理事会で審議された多重投稿について、近藤事務局長より粉体工学会の Advanced Power Technology 編集委員長からの多重投稿への処置に関する連絡が報告された。

4. 企画部会報告

①研究企画委員会報告

・資料 2011-4-05 に基づき、川原総務委員長（研究企画委員会幹事）から研究企画委員会の各分科会の2011年度の活動状況について報告があった。

②第4回 NBMB 講習会について

・資料 2011-4-06 に基づき、齊藤企画部会長から「第4回ナノバブル・マイクロバブル技術講習会」の開催企画書が説明され、これを了承した。

③混相流レクチャーシリーズ 37 開催および会計報告

・資料 2011-4-07 に基づき、内山理事から「混相流レクチャーシリーズ 37 -混相流を伴う自然災害- 数値解析の観点から現象を捉える-」の実施および会計報告がなされた。

5. 総務部会報告

①メール配信について

・資料 2011-4-08 に基づき、川原総務委員長より教員公募案内の混相流学会会員メーリングリストへの配信について（2011年12月22日付けメール審議）、次の提案があり、了承した。

公募案内の配信内規：教員あるいは研究員公募が「混相流の教育・研究に関係した教員あるいは研究員公募」と会長および総務委員長が判断した場合は、会員へのメール配信を許可する。なお、配信依頼者は混相流学会の会員とする。

②共催について

・資料 2011-4-09 に基づき、共催依頼のあった次の2件のシンポジウムを共催とすることが報告された。

公開シンポジウム「理論応用力学講演会（第61回）」（共催金：15000円/年）

キャビテーションに関するシンポジウム（第16回）（共催金なし）

なお、共催金に関する佐田富会長から提案（共催分担金があるものには共催しない」という原則は今後も続けるとして、「理論応用力学講演会」については例外として認める）を了承した。

③第11回日米先端工学シンポジウム招待討議者

・資料 2011-4-10 に基づき、川原総務委員長より日本工学アカデミーから推薦依頼があった「第11回日米先端工学シンポジウム招待討議者」として本学会推薦の一条憲明氏（株式会社 IHI）が選出されたことが報告された。なお、一条氏が本学会の会員であるかを確認し、非会員の場合は入会を勧めることとなった。

④データベース「学会名鑑」記入について

・資料 2011-4-11 に基づき、川原総務委員長よりデータベース「学会名鑑」への情報提供について説明があり、記載内容について意見が出された。そして、意見を参考にして総務部会により記載内容の案を作成後、メール審議を経て回答することが承認された。なお、内容中の学術領域は「総合工学」、記入者は総務委員長とすることとした。さらに、創設経緯・沿革および目的の英語記述については業者に英文校正を依頼することにした。

・上記に関連して学会 HP の英語版の不備が指摘された。そこで、木倉情報部会長、梅川編集副委員長、塩見インターネット運営委員長で検討していただくこととした。なお、日本語版の内容全部を英語版に翻訳するのは時間がかかるので、当面は内容を絞って英語版を作成することを了承した。

6. その他

①環境再生に向けた震災復興シンポジウムの開催について

・資料 2011-4-12 に基づき、中野理事より「環境再生に向けた震災復興シンポジウム（日本混相流学会主催）」の開催案内について説明があった。協賛学会の会員にメール案内をしてもらうように川原総務委員長からいくつかの協賛学会に案内メール配信の依頼をすることとした。また、佐田富会長より岩手県および県内の市町村に開催案内をして欲しいとの付言があった。

②日本工学会平成 24 年新春交礼会について

・秋本筆頭副会長から「日本工学会平成 24 年新春交礼会（日時：平成 24 年 1 月 23 日(月)17:30～19:20、会場：建築い会館ホール(港区芝 5-26-20)）」への出席報告があった。

③学会賞について

・秋本筆頭副会長より学会賞への応募状況が報告された。佐田富会長より、各理事に学会の活性化につながるような候補者を推薦するように要請があった。

④混相流学会年会講演会 2012・第 31 回混相流シンポジウムの準備状況について

・川原総務委員長から講演会への現時点での講演申込み件数、混相流シンポジウムのプログラム（内容）について実行委員会に問い合わせ、理事に報告することとした。

⑤学会誌「混相流」の表紙について

・木倉情報部会長および事務局から学会誌「混相流」の表紙デザインの使用权が 2012 年の 12 月号で切れるとの報告があった。そこで、会員公募でデザインを決めるか、業者にデザインを委託するかを編集委員会で検討していただき、その結果を理事会で審議することとした。

⑥次回理事会の日程および内容について

・第 5 回理事会は 2012 年 7 月 7 日（土）大阪駅前第 2 ビル 6 階、大阪市立大学文化交流センター小セミナー室にて開催することとした。
・2011 年度の総会資料を検討するので、依頼各部会の活動および会計について準備をするように確認した。

以上

総務委員長 川原 顕磨呂